

令和元年度 事務事業評価(平成30年度実施事業事後評価)シート / 令和2年度 実施計画調書 (  新規  拡充  縮小  休止・廃止  現状維持 )

1 事務事業の基本情報										整理番号								
事務事業名	保健衛生総務費			補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分	一般会計	款	04	項	01	目	01	事業	02
担当部	保健福祉部	担当課	保健推進課	担当係	管理	係												
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画 (名称: 健康プランじょうそう)			根拠法令及び市条例等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称: がん対策基本法) <input checked="" type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称: がん対策基本法(国) 茨城県がん対策推進計画) <input type="checkbox"/> 市の条令・要綱・規則等 (名称: )													

2 事務事業の目的										①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどのようなか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。				
現状課題	・保健活動に係る事務や、支援事業等を行っている。 ・災害時に保健師が危険を伴う現場に赴き、支援活動を行うにあたり、身を守るための装備品や、必要物品・感染症予防対策が不十分な状況である。 ・がんの治療に伴い就労や社会参加が困難となるケースがある。治療に伴う外見の変化の悩みを抱えている方に対して、市としての具体的な支援はない。			誰・何を対象に	・災害時保健師活動に必要な物品、環境。 ・がんの治療(化学療法)に伴う脱毛がありウィッグを購入した方 ・乳がんの治療(手術)に伴い、乳房補整具を購入した方			望ましい状態	・災害発生時に、保健師が迅速かつ的確、効果的に活動できる状態。 ・治療に伴う外見の悩みをかかえているがん患者の心理的及び経済的な負担を軽減する。 ・就労・外出といった社会参加を促し、療養生活の質の向上を図る。					
どのような方法・手順で	・医薬品、乾電池、その他不足している物品のストックする。 ・保健師活動について国、県、他自治体と連携を密にし、最新の情報による体制を整備する。 ・治療に伴い上記物品の購入をした方に対して購入経費の一部を助成する。													

3 事務事業の主たる成果指標										数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく具体的に記入してください。		
指標名	助成人数	単位	人	目標値	20	目標年次	2021	年度	指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	茨城県看護協会によるウィッグ・乳房補整具の購入費用補助制度の利用者が茨城県全体で380人(市町村ごとの集計は出ていない)であること、平成29年度から類似制度を導入しているつくばみらい市での実績が年間10件程度とのことから、目標値を設定した。		

4 事務事業の実績 ㉑										当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。	
年度	平成28年度			平成29年度			平成30年度				
	業務名	活動量		業務名	活動量		業務名	活動量		活動量	
事務事業を構成する主な業務	① 常総市献血推進に係る業務	1,027人		① 常総市献血推進に係る業務	1,002人		① 常総市献血推進に係る業務	815人			
	② 縣市町村保健師連絡協議会への加入			② 縣市町村保健師連絡協議会への加入			② 縣市町村保健師連絡協議会への加入				
	③ 県看護協会負担金 日本看護協会、茨城県看護協会会費	2名分		③ 県看護協会負担金 日本看護協会、茨城県看護協会会費	2名分		③ 県看護協会負担金、日本看護協会茨城県看護協会会費	2名分			
	④ 全国市長会保健事業賠償保険加入			④ 全国市長会保健事業賠償保険加入			④ 全国市長会保健事業賠償保険加入				
	⑤			⑤ 保健センター門扉補修			⑤ 骨髄移植ドナー支援事業				
	⑥			⑥			⑥				
	⑦			⑦			⑦				
	⑧			⑧			⑧				
	⑨			⑨			⑨				
	⑩			⑩			⑩				
	⑪			⑪			⑪				
	⑫			⑫			⑫				
	目標値に対する実績値		人	目標値に対する実績値		人	目標値に対する実績値		人		
決算額	954,971 円	内訳	特定財源		円	計	1,153,684 円	内訳	特定財源		円
			一般財源	954,971 円					一般財源	1,153,684 円	
	(住民一人あたりの行政コスト)			16 円			(住民一人あたりの行政コスト)			19 円	
											15 円

5 担当者評価 ㉒										実施したことによる成果や問題点を記入してください。	
成果				成果内容							
問題点											

6 担当部長及び担当課長評価 ㉓										担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。	
事務事業の方向性											
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止											
評価理由											

7 実施計画 ㉔										今後3年間の事業内容について、どのようなことをどの程度実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の「歳出の計」と「歳入の計」は一致させてください。	
年度	令和元年度			令和2年度			令和3年度				
事業内容	●常総市献血推進に係る業務 ●縣市町村保健師連絡協議会への加入 ●県看護協会負担金、日本看護協会茨城県看護協会会費 ●全国市長会保健事業賠償保険加入 ●骨髄移植ドナー支援事業 ●令和2年度予算要求 【旅費】 20,000円×5名=100,000円(県外派遣5名分) 【需用費】 ・消耗品費 20,000円×10=200,000円(保健師装備品不足分) ヘルメット、ビブス、リュックサック、帽子等 ・医薬材料費 30,000円(医薬品更新費用) ○災害発生時健康支援活動(他自治体からの派遣要請による支援活動を含む)。 ○最新の体制整備のために、国・県・他自治体との連携による情報収集を行う。 ●事業計画の立案・予算化(助成額) (ウィッグ上限10,000円まで 乳房補整具上限10,000円まで) ・当該額に1,000未満の端数があるときは、これを切り捨てた額 ・同一ウィッグ等について「いばらきがん患者トータルサポート事業(社会参加サポート事業)補助金」を受けている場合は、補助金分を減じた額を購入経費とする。 (助成回数) ・ウィッグ及び乳房補整具それぞれ、1人につき1回。 (申請期限) ・ウィッグ等を購入した翌日から1年以内			●常総市献血推進に係る業務 ●縣市町村保健師連絡協議会への加入 ●県看護協会負担金、日本看護協会茨城県看護協会会費 ●全国市長会保健事業賠償保険加入 ●骨髄移植ドナー支援事業 ●災害時保健師活動に係る必要物品及び環境整備 ・消耗品費 20,000円×3=60,000円 (保健師装備品不足分) ヘルメット、ビブス、リュックサック、帽子等 ○災害発生時健康支援活動(他自治体からの派遣要請による支援活動を含む)。 ○最新の体制整備のために、国・県・他自治体との連携による情報収集を行う。 ●がん治療に伴うウィッグ・乳房補整具の購入経費の一部を助成。 ○市民への事業周知(広報誌・ホームページ等) ○関係機関への事業の周知(茨城県・茨城県看護協会) ○ウィッグの購入費用補助に係る業務' @10,000×5人=50,000 ○乳房補整具の購入費用補助に係る業務' @10,000×5人=50,000 *別途新規事業として予算要求したが、当該事業の拡充として予算措置された。			●常総市献血推進に係る業務 ●縣市町村保健師連絡協議会への加入 ●県看護協会負担金、日本看護協会茨城県看護協会会費 ●全国市長会保健事業賠償保険加入 ●骨髄移植ドナー支援事業 ●災害時保健師活動に係る必要物品及び環境整備 【旅費】 20,000円×5名=100,000円(県外派遣5名分) 【需用費】 ・消耗品費 10,000円 乾電池、用紙等 ・医薬材料費 20,000円(医薬品更新費用) ○災害発生時健康支援活動(他自治体からの派遣要請による支援活動を含む)。 ○最新の体制整備のために、国・県・他自治体との連携による情報収集を行う。 ●がん治療に伴うウィッグ・乳房補整具の購入経費の一部を助成。 ○市民への事業周知(広報誌・ホームページ等) ○関係機関への事業の周知(茨城県・茨城県看護協会) ○ウィッグの購入費用補助に係る業務' @20,000×10人=200,000 ○乳房補整具の購入費用補助に係る業務' @10,000×10人=100,000				
	成果指標	助成人数	単位	人	目標値	0	指標名	助成人数	単位	人	目標値
予算額	歳出	計			1,102 千円	歳出	計				1,046 千円
		特定財源			千円		特定財源				千円
	歳入	一般財源			1,102 千円	歳入	一般財源				1,046 千円
		計			1,102 千円		計				1,046 千円

8 財務アドバイザーの見解									
---------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

9 行政改革懇談会(市民)の意見									
------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

10 最終評価(行政改革推進本部) ㉕											
事務事業の方向性											
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止											
評価理由											

11 事務事業の改善理由及び改善部分 ㉖										実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。	
事業内容	○災害時保健師活動に係る事業 最近の大規模災害の増加に伴い、市内のみならず市外からの支援要請も増加しており、携行用の医薬材料費・旅費・消耗品費の費用捻出。 ○医療用ウィッグ・乳房補正具購入費助成事業 がん患者の治療による負担を軽減し、療養生活の向上・社会復帰の支援。										